

研究機関名：東北大学

受付番号：2015-3-6

研究課題名 症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症患者に対するチーム医療の実態調査(多施設共同研究)

研究期間 西暦 2015 年 11 月（倫理委員会承認後）～2020 年 9 月

対象材料

- 病理材料（対象臓器名 _____）
生検材料（対象臓器名 _____）
血液材料 遊離細胞 その他（ _____）

上記材料の採取期間 西暦 1985 年 7 月～ 2015 年 6 月

意義、目的

症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症は、頭蓋冠、顔面、指趾に先天的な異常を示す疾患で、著しい咬合異常を示す。その治療においては、形成外科、脳神経外科、口腔外科、矯正歯科などの関連各科によるチーム医療が必要であり、出生直後から成人に至るまでの長期間にわたり、効果的かつ効率的な治療が望まれる。しかし、個々の施設におけるチーム医療方針や、一般的な治療指針は示されて入るものの、国全体のチーム医療の実態についての調査は世界でも見当たらない。

症候群性頭蓋骨縫合早期癒合症の治療に長期間に携わり、臨床記録を豊富に有する日本国内の矯正歯科医療機関が協力し、わが国におけるチーム医療の実態を明らかにし、医療の改善に役立てることを目的とする。

方法

- ①診療記録を調査し、患者ごとの調査票を作成する。
疾患名、性別、生まれた年代と顎口腔機能治療部初診時年齢、手術歴、矯正歯科治療歴、等
- ②調査対象者の調査票をとりまとめ、連結可能匿名化処理を行った調査票のコピーと連結可能匿名化対応表を作成する。
- ③連結可能匿名化後の調査票のコピーをレターパックプラスに入れ、多施設共同研究統括者である東京大学医学部顎口腔外科・歯科矯正歯科、須佐美隆史に送付する。
- ④参加全施設の解析結果を統括者よりメールにて受け取る。
- ⑤学術集会・論文発表内容についての討議をメール会議にて行い、決定する。

問い合わせ・苦情等の窓口

〒980-8574 宮城県仙台市青葉区星陵町 1-1

東北大学病院 顎口腔機能治療部

電話： 022-717-8412 FAX：